



遠州織物

遠州産地の歴史

静岡県西部にあたる遠州地域は古くから綿や麻を使った織物の産地。分業制を敷き、織りや染めだけでなく、準備工程から整理加工といった後工程まで、それぞれの工程において優れた技術を見ることができます。遠州地域で生産される織物の種類は実にさまざま。その様の広さがこの産地の特徴です。

主な生産工程

- ① 紡績 (ぼうせき)
綿のかたまりを引き伸ばして糸をつむぐ。
- ② 捻糸 (ねんし)
糸を捻る。※糸をねじり合わせる。
- ③ 整経 (せいけい)
経糸(たていと)を整える。織物の設計に従い、経糸の本数・長さをそろえ、一定の張力でビームに巻き取る。
- ④ 糊付 (のりつけ)
毛羽立ちや糸切れを抑えるため経糸に糊を付ける。
- ⑤ 経通し (へとおし)
経糸をドロッパー・ヘルド(綜糸(そうこう))、リード(籠(おさ))と呼ばれる織機の部品に通す。
- ⑥ 織布 (しきふ)
織機で経糸と緯糸(よこいと)を組み合わせ、生地を織り上げる。
- ⑦ 染色 (せんしょく)
顔料や染料を使って生地に色や柄を染める。3の前に染色することも。
- ⑧ 整理加工 (せいりかこう)
糊を落とし、生地に風合い・見た目・機能性を加えるために、さまざまな処理を施す。

織幅のこと

細幅織物 13cm未満	小幅織物 13~51cm	広幅織物 51cm以上
ひもの、テープ、バンド。 シートベルト等の産業用資材など	浴衣や着物等の和服地など 洋服地、カーテン生地、タオル、インテリア材など	110~145cmが中心

